

青学2年ぶり総合V 18・19・29



第96回東京箱根間往復大学駅伝は、復路が行われ、青学大が2年ぶり5度目の総合優勝を果たした。最優秀賞に当たる「金栗四三杯」は、この区間新記録を樹立した東洋大の相沢晃(学芸石川高卒)が受賞した。

IR汚職、5議員任意聴取 29

IR汚職で中国企業側が現金を渡したと供述した国会議員5人を、東京地検特捜部が任意で聴取していたことが分かった。秘書が受け取った可能性も含め捜査。

米、イラン司令官殺害 5

フクシマ50「福島が日本救った」 4

県内経済展望 トップに聞く 6

社説 GAP認証の推進 5
お悔やみ 12 窓 24 小説 18
暮・将棋 18 PM2.5情報 27

ふくしま健康検定クイズ 問28
問題 福島県の男性のうち、習慣的に運動している方の割合はどれくらい?(平成30年度)

答えは1月5日
ペナルティあり

① 約2人に1人
② 約3人に1人
③ 約5人に1人

きょう 天気 あすから

	6	12	18	24時	5日	6日	7日	8日	9日	10日
福島					7 					
二本松					5 					
郡山					4 					
須賀川					4 					
田村					3 					
白河					5 					
相馬					8 					
南相馬					8 					
浪江					8 					
平					9 					
小浜					9 					
若松	30 	30 	50 	4 	0 	80 	20 	40 	70 	50
喜多方	30 	30 	50 	5 	1 	80 	20 	40 	70 	50
猪苗代	30 	30 	50 	1 	2 	80 	20 	40 	70 	50
西会津	30 	30 	50 	4 	0 	80 	20 	40 	70 	50
田島	30 	30 	50 	1 	3 	80 	20 	40 	70 	50

降水量 5mm未満 5mm以上 10mm以上 15mm以上 20mm以上 25mm以上 30mm以上 35mm以上 40mm以上 45mm以上 50mm以上 55mm以上 60mm以上 65mm以上 70mm以上 75mm以上 80mm以上 85mm以上 90mm以上 95mm以上 100mm以上

週間気温	5日	6日	7日	8日	9日	10日
中通り(福島)	6	6	9	5	7	9
浜通り(小浜浜)	8	8	9	7	10	11
会津(若松)	3	4	5	5	5	5

発行所 福島市柳町4-29
郵便番号 960-8648
福島民友新聞社
電話代表 (024) 523-1191
編集局 (024) 523-1390
販売局 (024) 523-1472
振替口座 02180-8-5070
©福島民友新聞社 2020

2020年(令和2年)
1月4日(土曜日)
旧暦12月10日 先負 七赤

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

ふくしまの御食事処
味処 大番
すきやきとうなぎ



東京電力福島第一原発事故から10年目の春を迎える。福島第2原発を含め県内全10基の40年以上とされる廃炉へ向かう道の先に

「廃炉を未来の力に」
座談会 県内高校生、古里を語る

は、原発に代わる産業の創出や廃炉を担う人材の育成など世代を超えた課題が横たわる。福島民友新聞社は新年に当たり、県内の高校生を主役にした座談会を「ウイレッジ」(橋本町、広野町)で開いた。将来を担う世代が、廃炉を軸に古里の未来像について語り合った。参加者は、古橋渡さん(新

島を元気にしてほしい」1976年モントリオール五輪柔道男子重量級銅メダルの遠藤純男(69)郡山市出身。「勝つことが宿命づけられていた。金メダル以外はメダルじゃなかった」。84年ロサンゼルス五輪男子柔道金メダリスト山下泰裕の最大のライバルとして数々の名勝負を繰り広げた男にとって「お家」を背負って出場した五輪は、単なる憧れの舞台ではなかった。前年の世界選手権93kg超級で優勝。国民の期待を一身に集めながら1回戦で判定負けを喫し、金メダルの夢は潰れた。敗者復活戦を勝ち上がり銅メダルを手にしたが、表彰台の上で顔を上げることはできなかった。再起を懸けるはずだった4年後のモスクワ五輪は、旧ソ連のアフガニスタン侵攻への抗議で日本が出場をボイコット。遠藤は五輪での雪辱を果たせぬまま現役を退いた。

「(五輪で)人生の中でこれ以上ないほどの重圧と苦しみを経験した」と振り返るが、後悔はないという。引退後は指導者、審判員として競技に携わり、アテネ五輪で審判を務める夢も果たした。「苦しい時に必死で生きる経験をする。それは宝だと思う。逆境を経験して培われた心の強さが、その後の人生を豊かにした」という。

多くの本県関係選手が、東京五輪・パラリンピックを目指している。その活躍は震災復興の途上にある県内にも勇気を与えてくれるはずだ。今年の夏、どれだけの選手が輝きを放つだろうか。(文中敬称略)

1920年アントワープ五輪男子マラソンに三浦弥平(伊達市梁川町出身)が、出場してから1世紀。夏季五輪に立った県内出身者は前回りオデジャネイロ五輪までに50人を超える。憧れの舞台でまばゆい輝きを放ったオリンピックたちは、あの一瞬に思いをはせながら「東京」を目指す選手にエールを送る。

「激励にはマラソンの円谷幸吉さん(須賀川市出身)や重量挙げの大内仁さん(郡山市出身)もいた。恩師は喜んでくれたけれど自分はおまけみたいなものだった」。56年(昭和31年)東京五輪の自転車競技に出場した班目秀雄(75)白河市出身は、国の威信を懸けた五輪を振り返る。

日大の3年生だった。自国開催の出場枠で2人乗りのタンデムに出場。世界のスピードについていけず、大会で予選落ちし、あつた。競技は終わった。「世界の選手たちが目の色を変えてメダルを取りにきていた。今考えると自分は本気でやっていたら、まだまだ競技に対する考えが足りなかった」。

その思いは競輪選手を引退後、班目を指導者の道へと転じ立てた。長男真紀夫(47)白河実業高校や伏見俊昭(43)白河市出身から五輪選手を輩出。2000

年シドニー五輪は代表監督、ヘッドコーチを務めた。04年アテネ五輪ではチームスプリントで銀メダルを獲得した。

75歳となった今も情熱は衰えず、白河市の自宅近くにある練習場「班目道場」や泉崎村のトラック施設で孫ほどの離れた選手たちを指導する。「あと1人、2人は五輪選手を出したい。スポーツは人に勇気を与える。メダルを取って福

島を元気にしてほしい」1976年モントリオール五輪柔道男子重量級銅メダルの遠藤純男(69)郡山市出身。「勝つことが宿命づけられていた。金メダル以外はメダルじゃなかった」。84年ロサンゼルス五輪男子柔道金メダリスト山下泰裕の最大のライバルとして数々の名勝負を繰り広げた男にとって「お家」を背負って出場した五輪は、単なる憧れの舞台ではなかった。前年の世界選手権93kg超級で優勝。国民の期待を一身に集めながら1回戦で判定負けを喫し、金メダルの夢は潰れた。敗者復活戦を勝ち上がり銅メダルを手にしたが、表彰台の上で顔を上げることはできなかった。再起を懸けるはずだった4年後のモスクワ五輪は、旧ソ連のアフガニスタン侵攻への抗議で日本が出場をボイコット。遠藤は五輪での雪辱を果たせぬまま現役を退いた。

「(五輪で)人生の中でこれ以上ないほどの重圧と苦しみを経験した」と振り返るが、後悔はないという。引退後は指導者、審判員として競技に携わり、アテネ五輪で審判を務める夢も果たした。「苦しい時に必死で生きる経験をする。それは宝だと思う。逆境を経験して培われた心の強さが、その後の人生を豊かにした」という。

多くの本県関係選手が、東京五輪・パラリンピックを目指している。その活躍は震災復興の途上にある県内にも勇気を与えてくれるはずだ。今年の夏、どれだけの選手が輝きを放つだろうか。(文中敬称略)

「選手、指導者で五輪を経験したことが大きな学びになった」と話す班目さん＝白河市

「生きるか死ぬかぐらいのプレッシャー」と五輪を振り返る遠藤さん＝秋田市

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

逆境が心の強さに

64年東京・自転車代表 班目秀雄 遠藤純男

76年モントリオール 柔道「銅」

年シドニー五輪は代表監督、ヘッドコーチを務めた。04年アテネ五輪ではチームスプリントで銀メダルを獲得した。

75歳となった今も情熱は衰えず、白河市の自宅近くにある練習場「班目道場」や泉崎村のトラック施設で孫ほどの離れた選手たちを指導する。「あと1人、2人は五輪選手を出したい。スポーツは人に勇気を与える。メダルを取って福

島を元気にしてほしい」1976年モントリオール五輪柔道男子重量級銅メダルの遠藤純男(69)郡山市出身。「勝つことが宿命づけられていた。金メダル以外はメダルじゃなかった」。84年ロサンゼルス五輪男子柔道金メダリスト山下泰裕の最大のライバルとして数々の名勝負を繰り広げた男にとって「お家」を背負って出場した五輪は、単なる憧れの舞台ではなかった。前年の世界選手権93kg超級で優勝。国民の期待を一身に集めながら1回戦で判定負けを喫し、金メダルの夢は潰れた。敗者復活戦を勝ち上がり銅メダルを手にしたが、表彰台の上で顔を上げることはできなかった。再起を懸けるはずだった4年後のモスクワ五輪は、旧ソ連のアフガニスタン侵攻への抗議で日本が出場をボイコット。遠藤は五輪での雪辱を果たせぬまま現役を退いた。

「(五輪で)人生の中でこれ以上ないほどの重圧と苦しみを経験した」と振り返るが、後悔はないという。引退後は指導者、審判員として競技に携わり、アテネ五輪で審判を務める夢も果たした。「苦しい時に必死で生きる経験をする。それは宝だと思う。逆境を経験して培われた心の強さが、その後の人生を豊かにした」という。

多くの本県関係選手が、東京五輪・パラリンピックを目指している。その活躍は震災復興の途上にある県内にも勇気を与えてくれるはずだ。今年の夏、どれだけの選手が輝きを放つだろうか。(文中敬称略)

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

文化庁は、重要無形文化財保持者制度の対象に、和食の料理人など食文化を追加する検討を始めた。この制度の別名は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

待望の新刊が続々登場!!

霞ヶ城公園の植物と景観

孤高の鎚音

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説

伝説の伝説